さぽーとノート概要

○目的

個人の状況・支援や相談の情報をファイリングして保護者と関係機関が共有することで、個人に関わる多くの人たちとの連携を深めることができる

○管理と記録

　　　　・原則、保護者が記録し管理する

　　　　・関係する機関と共有

○メリット

　　　　・子供の発達や生活スキルの状況を確認することができる

　　　　・保護者が持ち続けることで、学校・医療・就労・施設などでの

　　　　　状況を把握することができる

　　　　・ライフステージ毎にとぎれない

　　　　　（支援機関が変わってもスムーズに情報伝達ができる）

　　　　・家族や本人をよく知っている人がいない場合でも『さぽーと

　　　　　ノート』を見ることで、その後の対応がスムーズになる

　　　　・記憶は曖昧になるが、『さぽーとノート』記録することで、

　　　　　各種制度の申請や更新の際の負担が軽減する

『さぽーとノート』　様式一覧

（様式1）医療について・・・病歴・通院・服薬など

（様式2）入院歴・・・入院歴・入院時の症状など

　（様式3）生活面の記録・・・生活全般の記録、年齢ごとに記録すると便利

　（様式4）福利の記録・・・療育手帳・精神保健手帳・身体障害者手帳の記録

　（様式5）日常生活の介助・・・アレルギー・好き嫌い・パニックなど

　（様式6）入学前の支援サービス・・・通所施設や支援内容

　（様式7）年間カレンダー・・・生理のサイクルなどを記録

　　　学校や役所関係の書類と一緒に保管しておくと便利です